

SEMINAR



第8回 同志社大学 「新ビジネス」フォーラムを開催

日時 2022年3月8日(火)

開催方法 オンライン

3月8日(火)に、第8回「新ビジネス」フォーラムを開催しました。当初、東京オフィスでの対面開催とオンライン開催のハイブリッド開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、昨年同様、オンラインのみの開催となりました。

今回は、「ものづくりを進化させる先端複合・高機能材料」と題し、同志社大学 先端複合材料研究センターに所属する理工学部の教員5名より、それぞれの研究シーズを紹介しました。

最初の講演として、リエゾンオフィス所長でもある加藤 将樹教授より、「熱電変換特性を示す機能性酸化物の新展開」をテーマに、機能性酸化物の構造を制御すると、どのように変換効率が高められるか、化学的な「ものづくり」による材料の特性変化について紹介しました。

2つ目の講演として、湯浅 元仁准教授より、「様々なスケールでの複合・複相化による金属材料の高機能化」をテーマに、電気めっきを活用したナノスケールでの金属材料の複合・複相化の技術とその特性、ならびにマイクロスケールの従来の複合化が金属電極特性に及ぼす影響を紹介しました。

3つ目の講演として、小武内 清貴准教授からは、「異なるスケールの強化材を用いた複合材料の高性能化」をテーマに、微細な繊維系強化材をCFRP(炭素繊維強化プラスチック)に添加した例について紹介しました。

4つ目の講演として、中村 守正准教授より、「ダイヤモンドライクカーボンの膜質制御」をテーマに、非常に広範な特性を有するDLC膜の、形成条件による膜質制御について紹介しました。

最後の講演として、先端複合材料研究センター長でもある田中 達也教授より、「脱炭素社会に求められる先端複合材料の高機能化」をテーマに、ライフサイクルでの環境負荷を少なくしつつ高機能化を目指す先端複合材料研究の一端を紹介しました。

急遽オンラインのみの開催へ変更したにも関わらず、多くの申し込みを受け、当日は81名に参加いただきました。開催後もさまざまなお問い合わせを受けており、この分野に対する企業の関心の高さを実感できるフォーラムとなりました。今後の産学連携および研究成果の実用化への進展が大いに期待されます。

